

「うちの未来 戦争いらへん」



高校生、安保法制廃止訴え

京都でデモ

戦争法の廃止を求めて声を上げ続け「私たちが望む未来を示そう」と高校生が

呼びかけたデモが30日、京都市で行われ、200人が参加しました。主催は、京都で活動する高校生グループ「SCHOOL OF DEMOCRACY」(スクール・オブ・デモクラシー)。京都、大阪、滋賀、岡山、東京などから集まった高校生二十数人を先頭に、「安

戦争法廃止を訴えてデモ行進する高校生たち。30日、京都市東山区

保法制は憲法違反」「うちの未来に戦争いらへん」などと唱和。今夏の参院選での野党共闘、緊急事態条項の創設反対、高校生の政治活動制限への疑問も訴えました。

サウンドカーから6人がスピーチ。高校3年の、こはるさん(18)は「学費や奨学金返済の負担が重く、夢を諦める友人がいる。教育より防衛費に予算を割く政府の下、これ以上そういう子を産みたくない。一票を諦めず選挙に行こう」と述べました。

友人とデモを眺めていた京都市の女子高校生(17)は、2月で18歳になるといい「選挙は行く。安保法制は自衛隊が海外で米国の手伝いをする法律で、日本に良いことはない。安保法制への姿勢は投票の大きな決め手だ」と話しました。

同グループは、野党各党に出発前のスピーチを依頼。日本共産党の倉林明子参院議員があいさつしました。